

ティファール

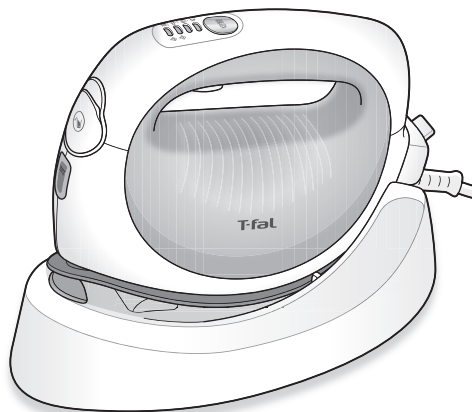
## スチーム シュシュ コードレス

家庭用

日本国内使用専用

(業務用または一般家庭用以外の用途では使用しないでください)

製品番号 DV75 シリーズ





1820004776-03

### 目次







安全上のご注意.....	2	お手入れ.....	22
各部の名前とはたらき.....	8	本体・スタンドのお手入れ.....	22
使用できる衣類について.....	10	かけ面のお手入れ.....	22
ご使用の前に.....	11	電源コネクタのお手入れ.....	23
使い方.....	13	故障かなと思ったら.....	24
使い終わったら.....	20	仕様.....	28

# 安全上のご注意

- 本製品は現在施行されている安全性に関する技術的な規則および規格（電磁適合性、低電圧、環境）に準拠しています。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

 発火注意	 強制または指示
 禁止行為	 分解禁止
 接触禁止	 電源プラグをコンセントから抜く

## 警告



製品に対応している電気設備を使う(100 V)



電源は、一般家庭用 定格15A、100V、50-60Hzを使用する間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。



電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜く感電の原因になります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の恐れがあります。



濡れた手で使用しない

感電やショート of の恐れがあります。



以下のような異常があるときは直ちに使用を中止し、電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜く

- 異常な音やにおいがする
  - 電源プラグやコードが異常に熱くなる
  - 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
  - 使用中ときどき電源が切れる、触れると電気を感じる
- ショートや発火する恐れがあります。



本体の近くでスプレー（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）や油煙などの可燃性ガスを発生するものを使わない

火災や故障の原因になります。



株式会社グループセブジャパンの修理技術者以外の人  
は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない  
やけど・感電・けがをすることがあります。



コンセントについて


- 単独でコンセントを使用する
  - 2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する
  - 延長コードを使用する際は、巻いたりたばねたりせず、定格 15A のものに単独で使用する
- コンセントや電源コードが発熱し、発火することがあります。




電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。  
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。


## 安全上のご注意 (続き)

- 
-  **電源プラグをコンセントに差し込んでいるときは、そばを離れない。とくに小さなお子様がいるときは注意する**  
やけどやけがの原因になります。


---

  -  **子供が製品で遊ばないように注意する**  
やけどやけがの原因になります。


---

  -  **電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく**  
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。


---

  -  **電源コードを本体に巻き付けて収納しない**  
感電・ショートや発火する恐れがあります。


---

  -  **本体を水につけたり、水をかけたりしない**


---

  -  **スチームトリガーをひきながら勢いよく振らない。また、アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない**  
やけどの原因になります。


---

  -  **電源コードをたばねたまま使用しない**  
感電・発火の原因になります。


---

  -  **万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない**  
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。

---

  -  **電源コードや電源プラグ、電源コネクタが傷んでいるときやコンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない**  
感電・ショート・発火の原因になります。  
弊社修理センターにご連絡ください。

---

  -  **電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない**



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、熱いものや重いものを載せたり、挟み込んだりしない

電源コードや電源コネクタが破損し、火災・感電の原因になります。損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

## 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



熱いアイロンにコードを巻き付けない

ショート・発火の原因になります。



製品や電源コードの近くに熱器具やとがったものを近づけない

思わぬ事故や、感電・ショート・発火の原因になります。



お手入れ時は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因になります。



高温部（本体のかけ面など）には手を触れない

やけどの恐れがあります。



高温部に電源コードが触れないようにする

使い終わったあとは、電源プラグをコンセントから抜き、保管する前に完全に冷ましてください。また、コードはゆるく巻いて保管してください。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。




高温のスチームが発生するので取り扱いに注意する





熱いスチームに触れない


やけどの原因になります。


## 安全上のご注意 (続き)


- 


**濡れていたり湿気のある衣類のアイロンをかける際は、ドライで使用する**  
スチームアイロンで使用するとやけどの原因になります。
- 


**熱くなっているときにアイロンを直接机の上などに置かない**  
必ずスタンドの上に置いてください。  
スタンドは水平で安定した、耐熱性のあるものの上に置いてください。
- 


**当社指定以外の部品を取り付けて使用しない**  
火災や感電、やけどの原因になります。
- 

**水タンクに異物・添加水（香水、ドライヤー・エアコン・冷蔵庫の水など）を入れない**  
故障、火災の原因になります。
- 

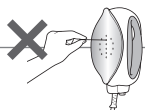
**アイロン内部にピンや針金を入れない**  
やけど・けが・故障・衣類を傷める原因になります。
- 

**熱に弱い敷物（じゅうたん、畳、ビニールクロス、樹脂製のものなど）の上に置かない**  
けがややけどの原因になります。
- 

**熱や湿気に弱い壁や家具の近くなどでは使用しない**  
壁や家具を傷める原因になります。
- 

**人体や生き物にスチームを向けたり使用しない**
- 

**本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。**  
各地域のごみ収集所に出してください。



※ 本製品には、専用の電源コネクタが付属しています。製品を使用する際は専用の電源コネクタを使用してください。専用の電源コネクタを別製品で使用したり、本製品を別の電源コネクタで使用しないでください。

※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。

※ アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。

※ アイロン台の縁やその近辺で使用すると、スチームがはみ出してやけどの原因になりますので、十分にご注意ください。

※ 付属のスタンドのみご使用ください。

※ この機器は、安全面の責任を持つことができる人が一緒の場合を除き、子ども、高齢者、アイロンや衣類スチーマーについての知識・使用経験のない人、心身に障害がある人が使うことを想定していません。

※ こどもがこの機器で遊ばないよう、注意してください。

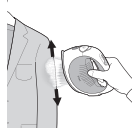
※ タンク内部の水滴について

本製品は出荷前にスチーム噴射検査をおこなっているため、水タンク内に水滴が残っている場合がありますが、製品のご使用にはまったく問題はありません。

## お願い

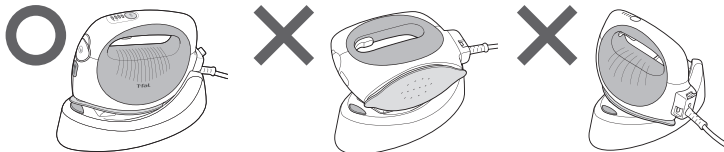
コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品などには使用しないでください。

衣類を傷める原因になります。



製品は平らで安定した場所で使用してください。

本体をスタンドに置くときは、スタンドを置く面が安定していることを確認してください。



高級品や特殊加工品、合成繊維などには、目立たない所のためにためしがけをしてください。

### 特にご注意

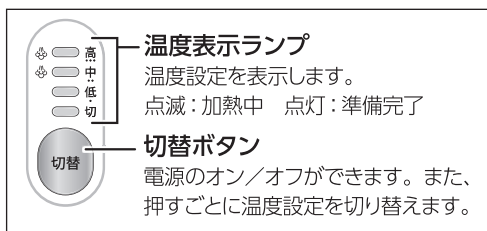
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わないでください。

誤動作の原因になります。

本製品は必ず屋内で使用してください。

# 各部の名前とはたらき



## ■ 本体

### 注水口カバー

水を入れるときに開けます。

### 水タンク窓

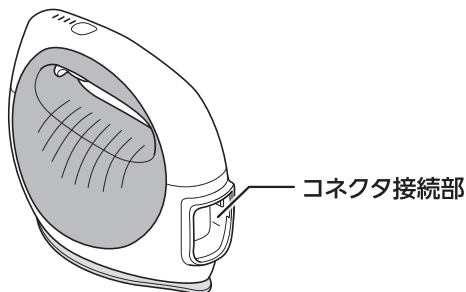
### かけ面

アイロンとしてお使いいただけます。

### スチームトリガー

温度を「高」・「中」に設定しているときにひくと、スチームが出ます。

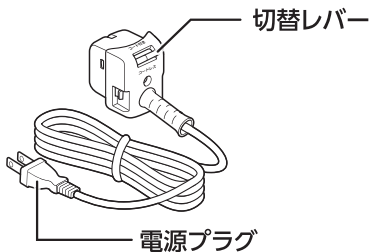
## <本体背面>





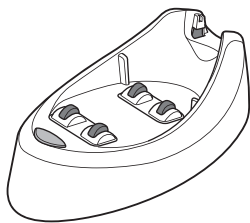
## ■ 電源コネクタ

コードレスで使用する際は、  
スタンドに取り付けます。  
コード付きで使用する際は、  
本体に取り付けます。



## ■ スタンド

本体に給電するときや、使用しない  
ときに上に置きます。







## ■ 計量カップ

水タンクに水を入れる  
ときに使用します。



## 温度について

衣類に表示されている取り扱い絵表示にしたがって使用してください。

	高温でかけてください。		低温でかけてください。
	中温でかけてください。		アイロンかけはできません。

- 衣類の目立たないところでためしがけをしてください。
- その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの表示があれば、その表示に従ってください。

## 使用できる衣類について

必ず衣類に表示されている絵表示に従ってください。また、「スチーム禁止」などの表示がある衣類には使用できません。

衣類に絵表示がない場合は、下の表を目安にしてください。

	ドライアイロン	スチームアイロン	スチーマー
革・合成（人工）皮革	×	×	×
ベルベット	×	×	△
カシミア	×	×	△
シルク（絹）	×	×	△
アクリル・ポリプロピレン	低（・）	×	△
レーヨン・ポリエステル・ナイロン	中（・・）	×	△
毛	中（・・）	×	△
麻（混紡・100%）*	高（・・・）	高（・・・）	○
綿	高（・・・）	高（・・・）	○

- かけ面を衣類に当てて使用できます。
- △ かけ面を衣類から離して、スチームのみで使用できます。
- × 使用できません。

※ 麻の種類によってシワが伸びにくい場合があります。

## ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。

かけ面にラベル類が貼ってある場合は、アイロンを加熱する前に剥がします。

### 初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。症状がひどくなる場合は、すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から粒や粉などが出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には、連続で 20 秒以上スチームトリガーをひいて蒸気を出してからご使用ください。スチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった際は、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。

その場合は、16 ページを参照していただき、スチームトリガーを長めにひくと、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。

スチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

## ご使用の前に (続き)

### タンク内部の水滴について

本製品は出荷前にスチーム噴射検査をおこなっているため、水タンク内に水滴が残っている場合がございますが、製品のご使用にはまったく問題ございません。

### ご使用にあたっての注意事項

#### 水道水のみをご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、炭酸水、リネンウォーター、衣類乾燥機・除湿機・冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸/ろ過された水、香料・添加剤を加えた水等のご使用にならないでください。アイロンのスチーム穴が詰まったり、布地のシミの原因となります。

#### のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ (スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ (こげつき) だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

#### オートオフ機能

温度設定を「高」・「中」・「低」いずれかに設定したまま、約 13 分間経つと、安全装置が働き自動的に「切」になります。

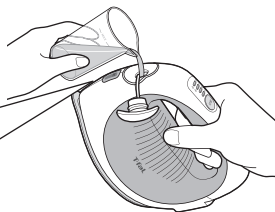
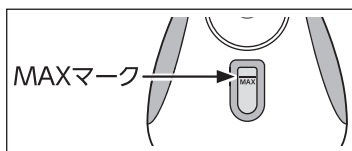
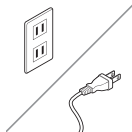
続けてお使いになる場合には、再度温度設定をしてください。

# 使い方

## 1 水タンクに水を入れます。

(スチームを使う場合)

- ① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。
- ② 注水口カバーを開け、水タンク窓のMAX マークまで付属の計量カップで水を入れます。



※ 水は MAX より多く入れないように注意してください。水タンクに水が付着したときは、拭き取ってください。

MAX 以上に入れた場合、注水口カバーの穴から水が漏れる恐れがあります。

※ コネクタ接続部の接続ピンが濡れた場合は、完全に乾かしてからお使いください。

- ③ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

使用中は注水口カバーを開けないでください。

● 水道から直接給水せず、必ず付属の計量カップをお使いください。

● 本製品は、水道水のみを使用して動作するように設計されています。



**注意**

● 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、炭酸水、リネンウォーター、衣類乾燥機・除湿機・冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸/ろ過された水、香料・添加剤を加えた水等のご使用にならないでください。

## 使い方 (続き)

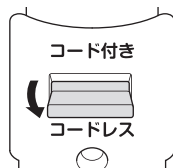
# 2 電源コネクタを、本体またはスタンドに取り付けます。

※ スタンドは、平らで耐熱性の材質のものの上に水平に置いてください。

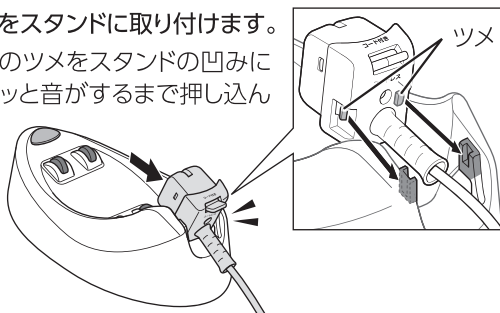
### コードレスで使用する場合

電源コネクタを付属の専用スタンドに取り付けます。

- ① 電源コネクタの切替レバーを「コードレス」の位置に動かします。

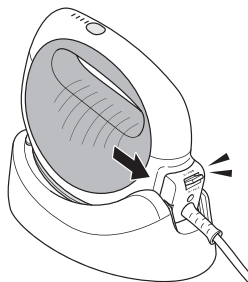


- ② 電源コネクタをスタンドに取り付けます。  
電源コネクタのツメをスタンドの凹みに合わせ、カチッと音がするまで押し込んでください。



- ③ 本体をスタンドに置きます。  
本体が電源コネクタに接続されていることを確認してください。

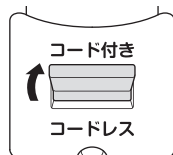
本体をスタンドに置いたり取り出す際に、電源コネクタとの接触部分から火花が出ることがありますが、これは製品の異常ではありません。



## コード付きで使用する場合

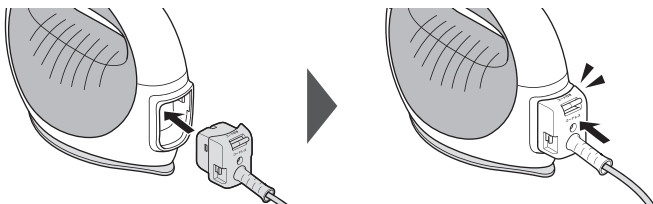
電源コネクタを本体に取り付けます。

① 電源コネクタの切替レバーを「コード付き」の位置に動かします。



② 電源コネクタを本体に取り付けます。

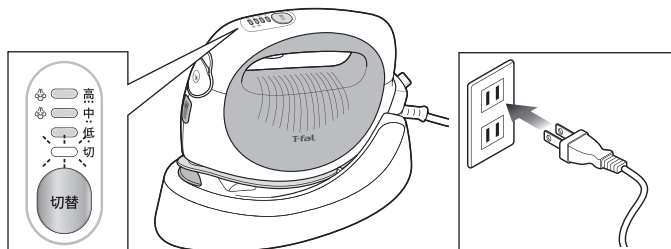
本体のコネクタ接続部分に、カチッと音がするまで水平に押し込んでください。



③ 本体をスタンドに置きます。

## 3 電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。

本体が電源コネクタに接続されていると「切」のランプが点滅します。



お願い

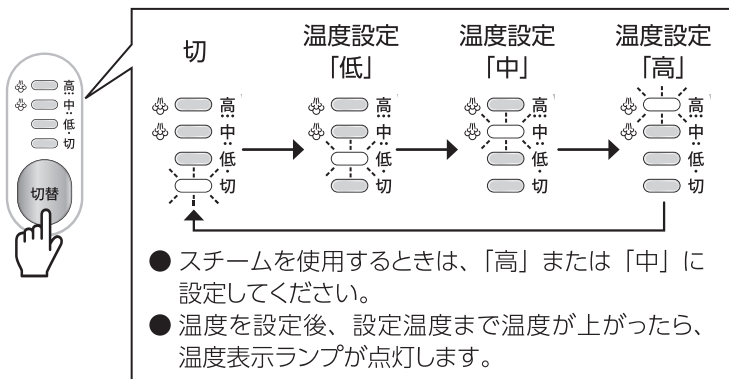
本体をスタンドにセットせずに電源プラグをコンセントに差し込んだり抜いたりしないでください。

## 使い方 (続き)

### 4 切替ボタンを押して使用する温度を選び、温度表示ランプが点滅から点灯に変わるまで待ちます。

#### 温度設定について

切替ボタンを押すごとに温度設定が切り替わります。



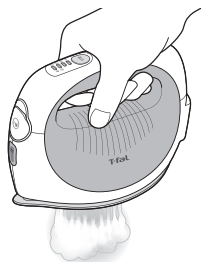
初めてご使用になるときや、長期間スチームをご使用にならなかったときは…

以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

① 温度設定を「高」に設定し、温度表示ランプが点灯したら、かけ面を下にしてアイロンを浮かします。

② スチームトリガーをひいてスチームを出します。

※ スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、スチームトリガーを長めにひいてください。

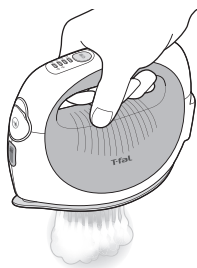




## 5 温度表示ランプが点灯したら、 使用を開始します。

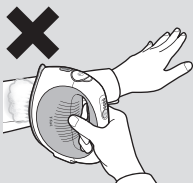
温度表示ランプが「高(…)」または「中(…)」に点灯している状態でスチームトリガーを引くとスチームが出ます。

- 使いはじめは衣類にあてる前に長めにスチームを出してスチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。
- スチームを出すときは、温度表示ランプが点灯していることを確認してください。
- 使用中に水がなくなったら、計量カップを使って水を入れてください。
- コードレスで使用中、スタンドから持ち上げると温度表示ランプは消灯します。スチーム量が減ったと感じたらスタンドに戻し、温度表示ランプが再度点灯するまでお待ちください。



### ！ 注意

- 注水口カバーを開くときは、熱い状態のかけ面や水タンク内の熱い水にご注意ください。
- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。
- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロンの真下に体(足や太もも)がこないように注意してください。
- 使用中、使用後はスタンドが熱くなっていますのでご注意ください。
- 温度表示ランプが点滅しているときは使用しないでください。

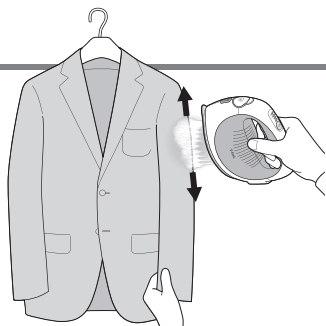


## 使い方 (続き)

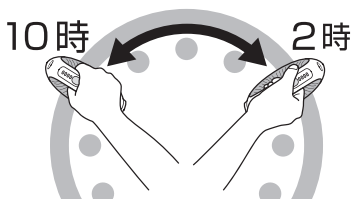
### ■ スチーマーとして使う

シャツやジャケットなどをハンガーにかけたままスチームトリガーをひいて、スチームをかけます。

シワやにおいを取ることができます。シャツは引っ張りながらかけるとシワが取りやすくなります。



- コードレスで使用時、時間が経過するとかけ面の温度が下がります。スチームの出が少なくなります。その場合は本体をスタンドに戻して給電してください。  
スタンドに戻したときに温度表示が点滅もしくは点灯していることを確認してください。
- コード接続口が上向きになるような持ち方はしないでください。
- 温度によって水タンクより水が供給されずスチームが出ないことがあります。
- スチームトリガーを離れた後もスチームが出ることがありますので、手や顔を近づけないでください。
- 本体の向きによっては、水タンクから水が供給されずスチームが出ない場合があります。本体の先が時計のおよそ10時から2時までの角度を向くようにして、本体をお持ちください。

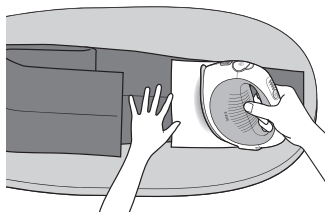


### お願い

- 熱に弱い繊維へのダメージを防ぐため本体を衣類から数センチ離してください。
- コードレスでお使いのとき、かけ面の温度が下がるとスチームと一緒に湯滴が落ちることがありますので、アイロンの下に身体の一部や生き物が入らないようにしてください。
- 衣類に付いている洗濯表示をご確認ください。

## ■ アイロンとして使う

アイロン台を使うことで、アイロンとして使うこともできます。



- コードレスで使用中、時間が経過すると本体の温度が下がりシワが伸びにくくなったりスチームの出が少なくなります。その場合は本体をスタンドに戻して給電してください。  
スタンドに戻したときに温度表示が点滅もしくは点灯していることを確認してください。
- ボタン、ファスナーなどの固いものにはアイロンがけをしないでください。
- ご使用のたびにかけ面に汚れがないことを確認してからお使いください。
- ドライアイロンとしてお使いの場合は、水タンクを空にしてください。



### 注意

アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

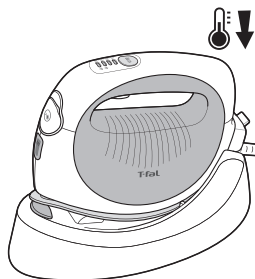
# 使い終わったら

**お願い** 必ず水タンクから水を捨ててから保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

## 1 本体を付属の専用スタンドに置きます。

切替ボタンを押して温度表示ランプを「切」の位置にします。

※ 使用時以外は常に本体を専用スタンドの上に置くようにしてください。



## 2 電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

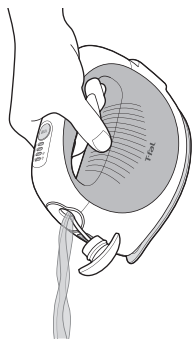


**注意**

使用後約 1 時間はかけ面が熱くなっています。直接手で触れないようご注意ください。

## 3 注水口カバーを開け、水タンクの水を捨てます。

※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。

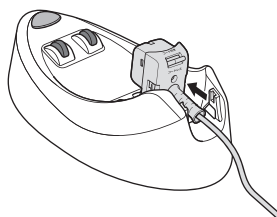
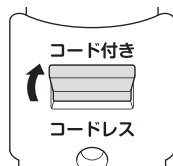


## 4 本体が十分に冷めたら、本体を保管します。

## 電源コネクタの外し方

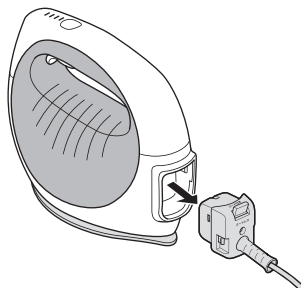
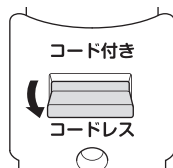
### スタンドから外す場合

- ① 電源コネクタの切替レバーを「コード付き」の位置に動かします。
- ② 電源コネクタをスタンドから取り外します。



### 本体から外す場合

- ① 電源コネクタの切替レバーを「コードレス」の位置に動かします。
- ② 電源コネクタを本体から取り外します。



# お手入れ

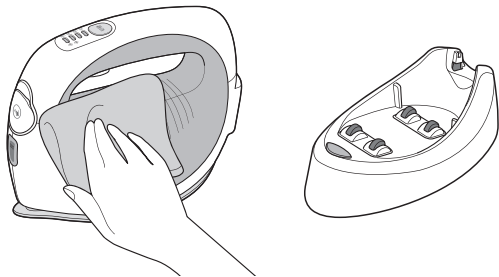
**!** 注意 水道水でじかにアイロン本体を洗わないでください。

- お願い**
- 電源をオフにした後、電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
  - 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

## 本体・スタンドのお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

がんな汚れには濡らして固く絞った布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



## かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取りってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

## 電源コネクタのお手入れ

汚れが付いたときはすぐに拭き取ってください。

### 警告

- お手入れの前に電源コネクタが本体やスタンドに接続されていないこと、電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。
- 電源コネクタは水、研磨剤、シンナー、ベンジンなどの液体で洗淨しないでください。
- 水道水に浸さないでください。
- 電源コネクタの清掃には乾いた布を使用してください。

# 故障かなと思ったら

## 状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
きちんと電源コネクタと本体が接続されていない。	電源コネクタを本体またはスタンドにセットし、本体の温度表示ランプが点灯もしくは点滅することを確認してください。

## 状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。 → 16 ページ
水タンクが空になっている。	水タンクに水を入れてください。
スチームトリガーをひいていない。	スチームトリガーをひいてください。
温度が「高」・「中」に設定されていない。	温度を「高」・「中」に設定してください。 「高」・「中」のときのみスチームが出ます。



## 状況 水タンクから水が漏れる

考えられる原因	対処方法
水タンクに水を入れすぎた。	MAX ライン以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	水タンクから漏れた水を拭き取ってからご使用ください。 アイロンかけ後は、20 ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、保管してください。
注水口カバーをしっかりと閉めていない。	注水口カバーはしっかりと閉めてください。

## 状況 粒や粉などがかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉（11 ページ）か、水道水のミネラル分（カルキ等）がたまり、排出された。	連続で 20 秒以上スチームトリガーをひいて蒸気を出してください。

## 故障かなと思ったら (続き)

### 状況

スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水タンク内の水を捨て、水道水で洗浄した後、13 ページを参照して水道水を入れてください。
不適切な水を使用した。	
繊維がスチーム穴にたまって焦げてしまう。	湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

**状況****かけ面が汚れる、または茶色くなり、  
布地にシミができる**

考えられる原因	対処方法
布地に洗剤やのりが残っている。	<ul style="list-style-type: none"><li>● のりを使用する場合は、あて布をしてください。(12 ページ)</li><li>● かけ面の汚れを取り除いてください。</li></ul>
布地が十分にすすがれていない。	洗濯後十分にすすがれていることを確かめてからお使いください。

※ かけ面のお手入れについては、23 ページを参照してください。

**状況****かけ面にキズがついたまたは破損した**

考えられる原因	対処方法
金属製または凹凸のある台の上に放置、またはファスナーの上に使用した。	ファスナー上の使用は避けてください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。

# 仕様

---

製品名	スチーム シュシュ コードレス
定格電圧・周波数	100V 50-60Hz
定格消費電力	1200W
温度ヒューズ	240℃
本体サイズ	(幅×長さ×高さ) 約 12 × 23 × 20cm
本体重量	約 1.5kg (スタンド、電源コネクタを含む)
コード長さ	約 2.6m
タンク注水量	約 100mL

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

**Made in China**

## 愛情点検

### ●長年ご使用のアイロンの点検を!



#### こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

#### ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。

## 株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様  
相談センター



**0570-077772**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文  
センター



**0570-086072**

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。